

やましろ
山城第1遺跡

平成12年度細井地区県営農地保全整備事業に伴う
埋蔵文化財調査概要報告書

2001

宮崎県北諸県郡高城町教育委員会



序

高城町教育委員会では、平成12年度細井地区県営農地保全整備事業に伴い、宮崎県北諸県農林振興局の委託をうけて、埋蔵文化財の発掘調査を行いました。

今回の発掘調査では、縄文時代から平安時代にかけての数多くの貴重な資料を得ることができました。

特に、縄文時代後期の竪穴住居跡の出土軒数は、郡内だけではなく、県内でも多い遺跡の一つです。そのためこの遺跡が、宮崎県の縄文時代の研究、特に集落遺跡の研究に影響を与えることは勿論ですが、今後の町民の歴史研究に寄与するとともに、学校教育や生涯学習の場で活用され、埋蔵文化財の保護に対する認識と理解の一助となることを期待しております。

末筆ながら、遺跡の調査及び整理、本書の作成に際し、多大なるご協力、ご理解を賜った細井地区土地改良区、宮崎県北諸県農林振興局、宮崎県教育庁文化課、各関係機関、町民各位の皆様方に深く感謝を申し上げる次第であります。

平成13年3月

高城町教育委員会
教育長 内田國昭

例　　言

- 1、本書は、宮崎県北諸県郡高城町大字有水の細井地区における県営農地保全整備事業に伴い、平成12年度に実施した山城第1遺跡の発掘調査概要報告書である。
- 2、発掘調査は、第2次発掘調査を平成12年4月11日～6月30日まで実施し、第3次発掘調査を平成12年8月1日～平成13年2月23日まで実施した。
- 3、発掘調査は、高城町教育委員会が主体となり、高城町教育委員会社会教育課主査白谷健一が行い、宮崎県教育庁文化課谷口武範の調査指導を受けた。
- 4、調査組織は以下のとおりである。

調査主体 高城町教育委員会

教 育 長	新 地 文 雄（平成12年9月まで）
	内 田 國 昭（平成12年10月より）
社会教育課長	江内谷 満 義
課長補佐兼文化係長	田 中 孝 明
調査担当	町社会教育課主査 白 谷 健 一
調査指導	県文化課主査 谷 口 範 典

- 5、本書の執筆及び編集は白谷が行った。
- 6、出土遺物や写真及び図面は高城町教育委員会で保管している。
- 7、空中写真については、㈱スカイサーベイに委託した。

本文目次

第Ⅰ章 調査に至る経緯·····	1
第Ⅱ章 遺跡の立地と環境·····	1
第Ⅲ章 第2次発掘調査の概要·····	3
1. 調査の内容·····	3
2. 遺構·····	4
第Ⅳ章 第3次発掘調査の概要·····	5
1. 調査の内容·····	5
2. 遺構·····	5
3. 遺物·····	12
第Ⅴ章 まとめ·····	13
報告書抄録·····	14

挿図目次

第1図 遺跡位置図·····	2
第2図 遺跡周辺地形図·····	3

図版目次

巻頭図版 山城第1遺跡空中写真	
図版 1 3次1区空中写真(1回目)·····	16
図版 2 3次1区空中写真(2回目)·····	17
図版 3 3次2区・3区空中写真·····	18
図版 4 3次3区空中写真(2回目)·····	19
図版 5 3次4区空中写真(1回目)·····	20
図版 6 3次5区空中写真(2回目)·····	21
図版 7 2次発掘調査 SG-1 土層写真·····	22
3次発掘調査 土器だまり	
図版 8 3次発掘調査 D-23·····	23
3次発掘調査風景	

第Ⅰ章 調査に至る経緯

昭和63年より、高城町大字有水の細井地区において、宮崎県北諸県農林振興局による県営農地保全整備事業が計画された。そのため事業地内の埋蔵文化財の有無が問題となり、協議の結果、工事施工計画で遺跡に影響するところを発掘調査することになった。発掘調査は平成4年より行い、平成4年度は上原第1遺跡、8,000m²で、縄文時代の竪穴住居跡が8軒、古墳時代の竪穴住居跡が15軒、中世の掘立柱建物跡が10軒出土している。平成5年度は上原第2遺跡、7,800m²で、縄文時代と弥生時代の竪穴住居跡が1軒ずつ出土している。平成6年度は上原第3遺跡、10,000m²で、縄文時代の竪穴住居跡が5軒、平安時代の掘立柱建物跡が1軒出土している。

その後、地元との調整がつかず、事業が延期されていたが、平成11年度に入り、地元との事業調整がつき始めたため、北諸県農林振興局より、宮崎県文化課に平成12年度事業予定地4.5haの試掘調査の依頼があり、試掘調査は県文化課の東憲章が担当し、作物が畑に植えられているため、作物がない畑を11ヶ所の坪掘り状の試掘調査しかできなかつたため、事業予定地の全体像をつかむことができなかつた。

また、平成11年度工事予定地内にも、発掘調査が必要な部分が判明し、平成12年4月より、3,000m²の発掘調査を行つた。

平成12年度の工事予定地内の発掘調査については、確実に遺跡が存在し、削平を行う部分をタバコ刈り取り後の8月より先行して発掘調査を行い、その他の場所については、作物刈り取り後に確認調査を行い、発掘調査必要面積を決定することとした。確認調査は平成12年9月27～29日の3日間、宮崎県文化課谷口武範が行った。工事予定地内には4m×20mのレンチを17本設定し、造構確認を行い、4軒の竪穴住居跡を確認した。最終的な発掘調査面積は14,000m²となつた。

発掘調査については、平成12年4月6日～6月30日まで行つた3,000m²を山城第1遺跡第2次発掘調査、平成12年8月1日～平成13年2月23日まで行つた14,000m²を山城第1遺跡第3次発掘調査とした。

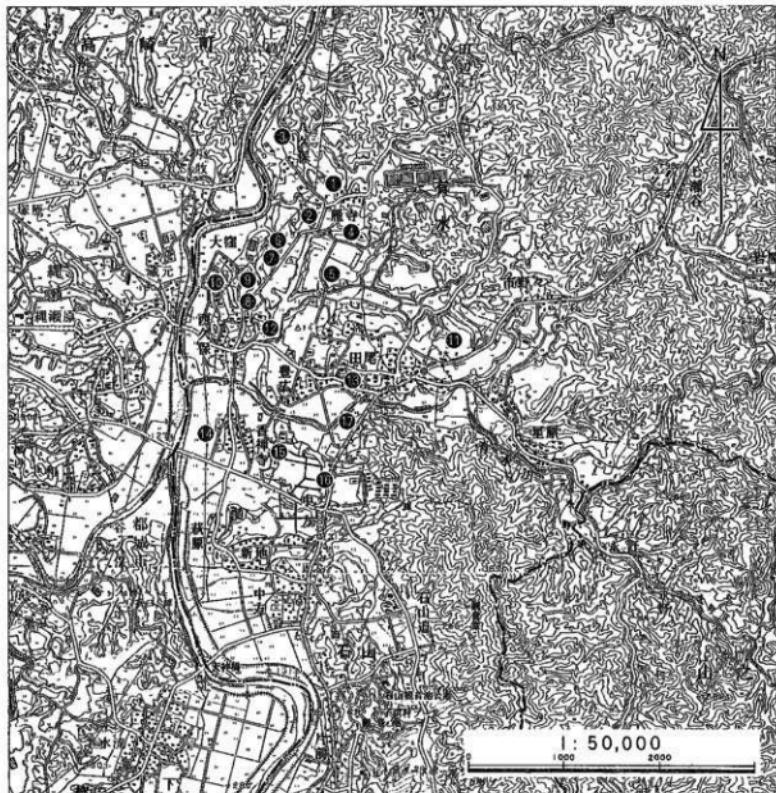
第Ⅱ章 遺跡の立地と環境

高城町は宮崎県の南西部に位置する都城盆地の北部にあり、北は野尻町、東は高岡町、山之口町、南は都城市、三股町、西は高崎町に囲まれている。

山城第1遺跡は高城町の中心部より、北に12kmほどの所にあり、西を大淀川、南を有水川に挟まれた台地上に位置している。台地にはいくつかの谷が入つており、水が湧き出る所がある。

周辺の遺跡は縄文時代の八久保遺跡や雁寺第2遺跡、平安時代の下野遺跡、古墳時代の雁寺遺跡の他に県指定古墳が8基あり、有水川を越えた石山の香禪寺遺跡からは板石積石室が出土している。遺跡の南側の谷を挟んだ台地上には、下の城址や須田木城址といった中世山城や縄文、古墳の集落遺跡の上原第1、第2、第3遺跡がある。

大淀川を越えた高崎町には、古墳時代の鳩越第1遺跡や縄文時代の鳩越第2遺跡や中世山城の柳の城址がある。



第1図 遺跡位置図 (1/50,000)

- 1、山城第1遺跡 2、雁寺第2遺跡 3、八久保遺跡 4、下野遺跡
5、雁寺遺跡 6、上原第3遺跡 7、上原第2遺跡 8、上原第1遺跡
9、須田木城 10、下の城 11、上別府遺跡 12、高城古墳群21・22号墳
13、高城古墳群19・20号墳 14、香禪寺遺跡 15、高城古墳群16・17号墳
16、高城古墳群15号墳 17、高城古墳群14号墳

第Ⅲ章 第2次発掘調査の概要

1、調査の内容

山城第1遺跡第2次発掘調査は高城町教育委員会が主体となり、平成12年4月11日～6月30日まで行った。

発掘調査面積は3,000m²で、重機で表土を剥ぎ始め、遺物包含層を作業員の手で掘り始めた。

基本層序は、第Ⅰ層が表土（耕作土）、第Ⅱ層が高原スコリア（焼けボラ）、第Ⅲ層が黒色土、第Ⅳ層が黒褐色土（ボラ少量含む）、第Ⅴ層が黒褐色土（下にいくほどボラを多く含む）、第Ⅵ層が御池ボラであった。



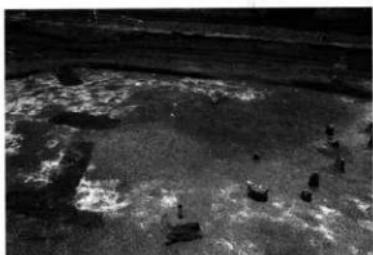
第2図 遺跡周辺地形図 (1/5,000)

2、遺構

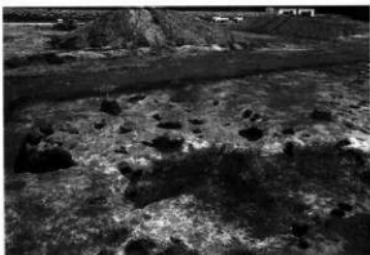
遺構は縄文時代の竪穴住居跡が4軒、平安時代の竪穴住居跡が1軒、集石遺構2基、土坑、道路跡1本出土している。

S A - 1

最大径6mの円形プランで検出面からの深さは約30cmである。床面は中心部辺りが固く締まっており、縄文後期の土器が出土している。



S A - 1 検出状況



S A - 1 完掘状況

S I - 1

長軸55cm、短軸45cmの集石遺構。

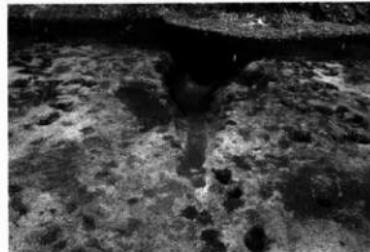


S I - 1 検出状況

S G - 1

最大幅1.4cmの道路遺構。

埋土に享保の白ボラが堆積している。



S G - 1 完掘状況

第IV章 第3次発掘調査の概要

1、調査の内容

山城第1遺跡第3次発掘調査は高城町教育委員会が主体となり、平成12年8月1日～平成13年2月23日まで行った。

第3次発掘調査の発掘調査面積は14,000m²であったが、場所によっては作物の関係で調査ができない状態であった。そのため作物の刈り入れが終わっている畑から、重機で表土を剥ぎ始め、剥ぎ終わった畑から1区、2区、3区、4区、5区の計5地区を設定した。ただし、1区と3区は廃土を置く場所のないことから、調査区を半分に分け、半分掘っては半分を掘るという方法を採った。3区、4区、5区はトレンチャーによる擾乱をかなりの面積受けているが、遺物包含層は残存している。

基本層序は、第I層が表土（耕作土）、第II層が高原スコリヤ（焼けボラ）、第III層が黒色土、第IV層が黒褐色土（ボラ少量含む）、第V層が黒褐色土（下にいくほどボラ多く含む）、第VI層が御池ボラであった。

出土遺物は縄文～中世にかけてのものであり、縄文時代の土器が半分以上占めている。

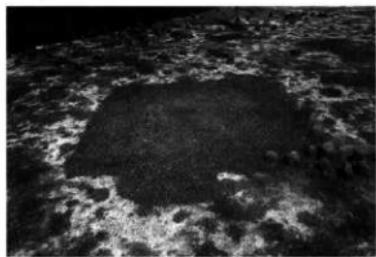
2、遺構

遺構は縄文時代の竪穴住居跡が52軒、古墳時代の竪穴住居跡が4軒、平安時代の掘立柱建物跡が2棟、集石遺構が5基、土坑が多数出土している。

1区

SA-1

一辺4.2m×3.8mの方形プランで検出面からの深さは約40cmである。住居は4本柱で、古墳時代の土器が出土している。



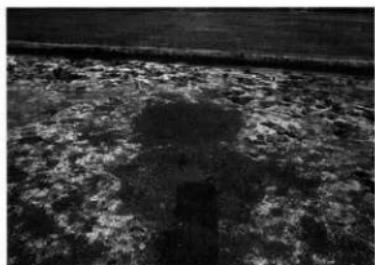
SA-1 検出状況



SA-1 完掘状況

SA-4

最大径2.8mの円形プランで検出面からの深さは約40cmである。SA-5の東側にあり、西側の壁面を少し切られている。縄文後期の土器が出土している。



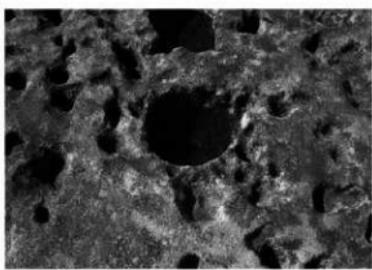
SA-4(下)、5(上) 検出状況



SA-4 完掘状況

C-5

最大径1mの円形プランの土坑で、検出面からの深さは約50cmである。



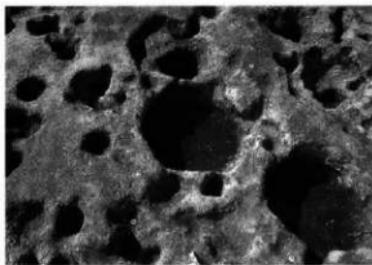
SC-5 完掘状況

SC-7

最大径1mの円形プランの土坑で、検出面からの深さは約30cmである。土坑の上層には、石皿が配置しており、縄文後期の土器が出土している。



SC-7 遺物出土状況



SC-7 完掘状況

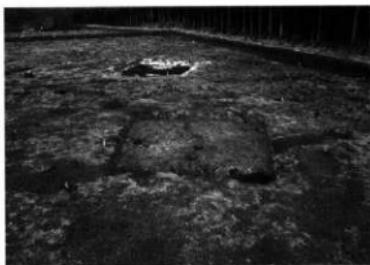
2区

SA-1

一辺4.2m×4.1mの方形プランで検出面からの深さは約30cmである。住居は4本柱で、須恵器が出土している。



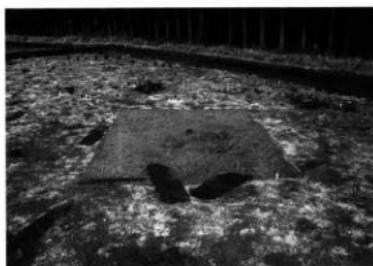
SA-1 遺物出土状況



SA-1 完掘状況

SA-2

一辺5.7m×4.5mの方形プランで検出面からの深さは約20cmである。住居は4本柱で、古墳時代の土器が出土している。



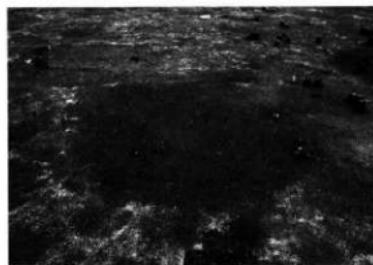
SA-2 検出状況



SA-2 遺物出土状況

SA-4

最大径4.3mの円形プランで検出面からの深さは約60cmである。縄文後期の土器が出土している。



SA-4 検出状況



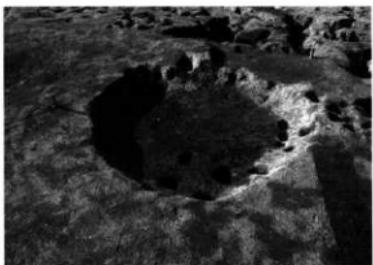
SA-4 遺物出土状況

SA-5

最大径3.3mの円形プランで、検出面からの深さは約30cmである。縄文後期の土器が出土している。



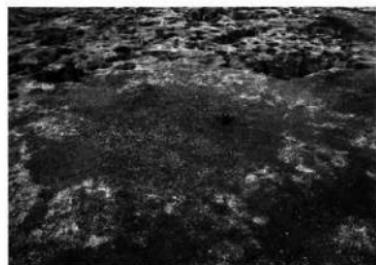
SA-5 遺物出土状況



SA-5 完掘状況

SA-9

最大径3.5mの円形プランで、検出面からの深さは約35cmである。縄文後期の土器が出土している。



SA-9 検出状況



SA-9 遺物出土状況

3区

SA-4

一辺5m×3.5mの方形プランで、検出面からの深さは約45cmである。縄文後期の土器が出土している。



SA-4 検出状況



SA-4 完掘状況

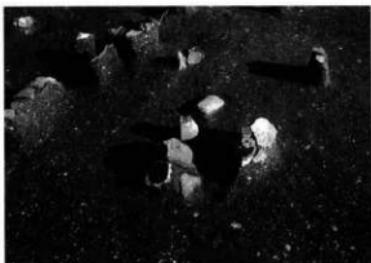
SA-10

最大径3.7mの円形プランで、検出面からの深さは約45cmである。縄文後期の土器が

土している。



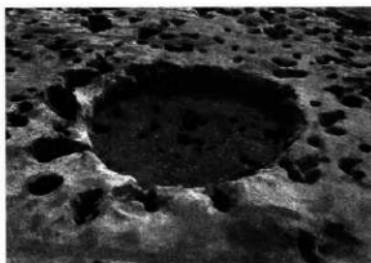
SA-10 検出状況



SA-10 遺物出土状況

SA-11

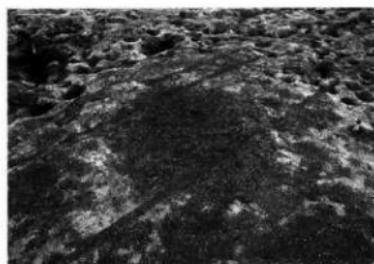
最大径3.5mの円形プランで、検出面からの深さは約50cmである。縄文後期の土器が出土している。



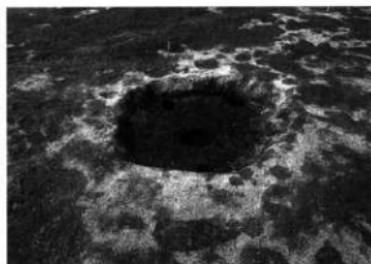
SA-11 完掘状況

SA-12

一辺2.8m×2.5mの方形プランで、検出面からの深さは約35cmである。縄文後期の土器が出土している。



SA-12 検出状況



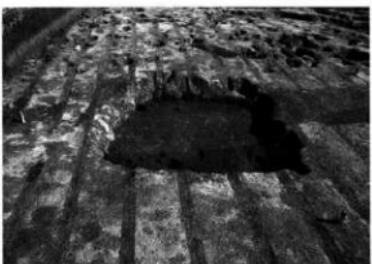
SA-12 完掘状況

SA-15

一辺3.3m×3.2mの方形プランで、検出面からの深さは約35cmである。縄文後期の土器が出土している。



SA-15 検出状況

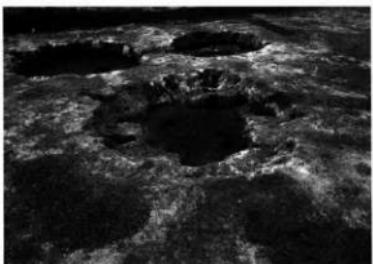


SA-15 完掘状況

4区

SA-3

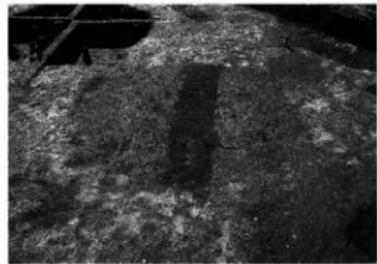
最大径4.3mの円形プランで、検出面からの深さは約55cmである。縄文後期の土器が出土している。



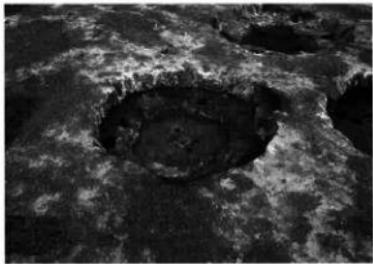
SA-3 完掘状況

SA-4

最大径3.5mの円形プランで、検出面からの深さは約70cmである。縄文後期の土器が出土している。



SA-4 検出状況



SA-4 完掘状況

5区

SA-7

一辺5.2m×4.6mの方形プランで、検出面からの深さは約30cmである。古墳時代の土器が出土している。



SA-7 検出状況



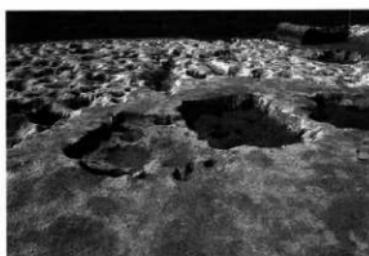
SA-7 遺物出土状況



SA-7 完掘状況

SA-10

一辺3.1m×2.5mの方形プランで、検出面からの深さは約40cmである。



SA-10(右)、11(左) 完掘状況

SA-11

一辺3.9m×2.5mの方形プランで、検出面からの深さは約30cmである。SA-10と同じく、縄文後期の土器が出土している。

SC-3

長軸70cm、短軸55cmの集石遺構。



SC-3 出土状況

3、遺物

遺物の出土量は、1区が他の区と比べ断然多く、竪穴住居跡が集中している場所は、やや少なかった。各区とも、縄文土器の出土が一番多く、須恵器、土師器も出土した。

縄文時代後期の土器は口縁部が波状口縁で、貝殻腹縁文を胴部に施すものである。土器の色調は赤褐色系がほとんどである。

須恵器は内外両面に叩き痕を持つ平安時代のものと、須恵Ⅱ期に相当すると思われるものも出土している。また、丹塗りの長頸壺と碗が同じ住居跡から出土しており、6世紀初頭のものと思われる。

石器については、石斧が打製、磨製の完成品、未完成品、欠損品を合わせて10点ほど出土している。石材は砂岩、流紋岩である。

石棒も出土しており、形状は刀型である。



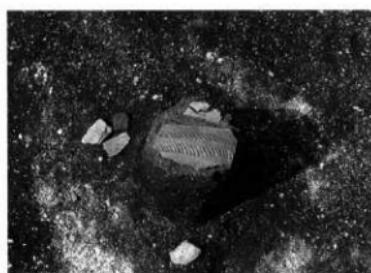
石斧



石棒



丹塗り土器



縄文土器

第V章 ま と め

今回の発掘調査では、堅穴住居跡56軒、掘立柱建物跡2棟、土坑が数多く出土している。現在、なお整理段階であるため、詳しく考察することができないが、若干の私見を述べてみる。

高城町において、現在、計20軒の縄文時代後期の堅穴住居跡が出土しており、一つの遺跡で52軒の縄文時代後期の堅穴住居跡が出土したのは、郡内では初めてである。県内でも、宮崎学園都市遺跡の平畠遺跡の55軒、清武町の竹ノ内遺跡の51軒、串間市の三幸ヶ野遺跡の50軒に次ぐものである。

山城第1遺跡から出土した52軒の縄文時代の堅穴住居跡は、方形、円形、梢円形の3タイプがある。当然、52軒の堅穴住居跡が同時期に存在したわけではなく、建て替えを繰り返した。よって、住居内から出土した土器を分類して考察していくと、住居跡の編年の調べができる。

また、堅穴住居跡は遺跡全体に散らばっているのでなく、ある程度の軒数がまとまって、遺跡に散在しているので、家族単位かもしれない。

縄文時代の土坑の中で、土坑の中心部辺りに石皿もしくは、少児の頭大の石を配置している土坑がある。おそらく石を標石とした土坑墓と思われる。

古墳時代の3軒の堅穴住居跡は、どれも壁面高が低いので、本来の高さはもっとあった。住居跡からは、丹塗りの完形品、一部破損品の土器が3点出土している。一見祭祀を考えさせる土器だが、高城町だけでなく、郡内の遺跡からも多く出土しているので、特別のものではないかもしれないが、今後考えなければいけない問題と思う。

平安時代の掘立柱建物跡はかなりしっかりとした柱穴を持ち、同時期と思われる土器だまりがあったことから、建物としては建たなかった柱穴で、もっと多くの掘立柱建物跡が存在したと思われる。土器だまりは溝状遺構に遺棄されたものと考えることもできるが、構状遺構が検出されなかった。町内の上原第1遺跡では植物珪酸体分析から、陸稻を栽培していたことがわかっていたので、この遺跡でも栽培し、集落を形成していたと思われる。

今後の研究課題としては、縄文時代の集落が最大の課題であろう。近年、南九州の縄文文化が注目されており、この遺跡も参考材料になると思う。

現在、遺構・遺物が未整理の段階で、詳細なことを報告できないため、本報告に期したいと思う。

報告書抄録

ふりがな	やましろ
書名	山城第1遺跡
副書名	平成12年度細井地区県営農地保全整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書
シリーズ名	高城町文化財調査報告書
シリーズ番号	第10集
編著者名	白谷健一
発行機関	高城町教育委員会
所在地	〒885-1202 宮崎県北諸県郡高城町大字穂満坊46-2 TEL0986-58-2317
発行年月日	2001年3月31日

ふりがな	やましろ
所収遺跡	山城第1遺跡
ふりがな	みやざきけんきたもろかたぐんだかじょうちょうおおあざやましろ
所在地	宮崎県北諸県郡高城町大字山城
市町村コード	453439
遺跡番号	5063
北緯°' "	31° 52' 14"
東經°' "	131° 07' 57"
調査期間	000406~000630 000801~010223
調査原因	農地保全整備
種別	散布地
主な時代	縄文~古墳・平安・中世
主な遺構	竪穴住居・掘立柱建物
主な遺物	縄文土器・土師器
特記事項	・県内でも縄文時代後期の竪穴住居跡の出土数が多い。

図 版



3次1区空中写真（1回目）



3次1区空中写真（2回目）



3次2区・3区空中写真



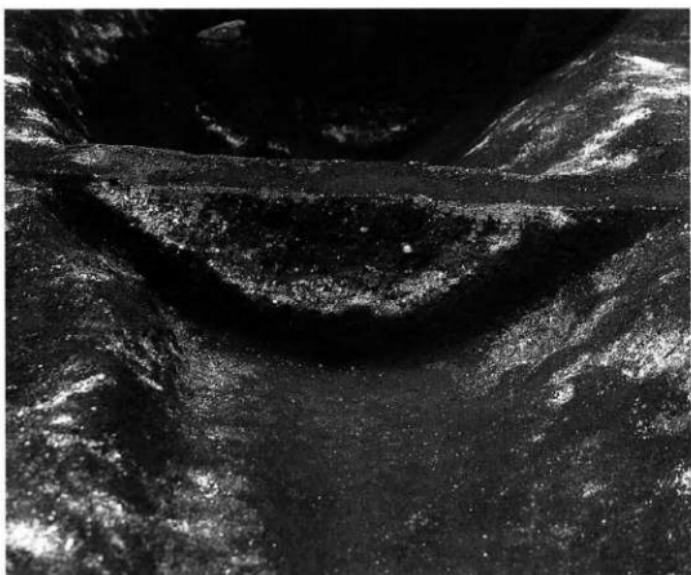
3次3区空中写真（2回目）



3次4区空中写真（1回目）



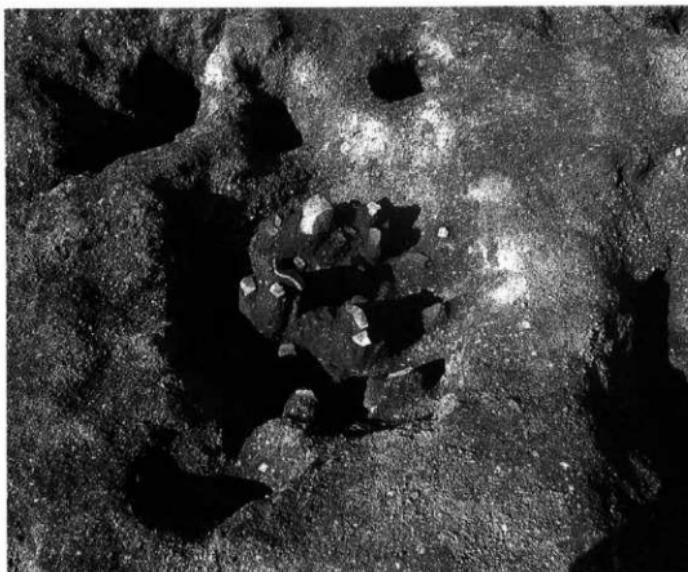
3次5区空中写真（2回目）



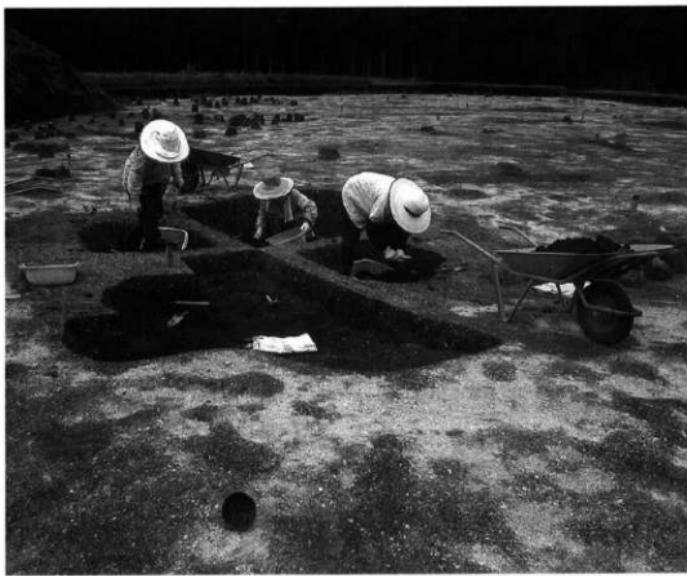
2次発掘調査 SG-1 土層写真



3次発掘調査 土器だまり



3次発掘調査 D-23



3次発掘調査風景

高城町文化財調査報告書 第10集
山城第1遺跡

2001年3月

編集・発行 高城町教育委員会

〒885-1202 宮崎県北諸県郡高城町
大字穂満坊46-2
TEL 0986-58-2317

印 刷 株式会社 文昌堂

〒885-0052 宮崎県都城市
東町18街区1号
TEL 0986-22-1121

この報告書は、再生紙を使用しています。